

提案趣旨説明書

スポーツの町としてつかう安城

目的 多目的交流拠点（アリーナ）の開放に合わせてバスケットボール以外のスポーツにも触れられるような工夫を駅前に施すことで、アリーナの魅力を補強し、三河安城を「スポーツのまち」として新たにブランド付けしたいと思った。

方法 市民の不要な資源などを中心に使って駅前の広場とその周辺（高架下）にバスケットゴールやスケートボードのパークなどを設置する。

メリット 多目的交流拠点に来た人が足を止めてくれることで三河安城のほかの施設に立ち寄ってもらうきっかけになる／ちょっとした運動を行う場所として、市民の健康づくりのサポートをできる／スケートボードなど本来してはいけないスペースで行われているスポーツをできる場所を作ることで、地域の治安をよくすることができる／地域のイベントをしたり、シーホース三河の屋外イベントなどで地域を盛り上げたりできるようなスペースになる

実現が少し難しいアイデアかもしれないが、幅広く地域に協力を求めていくことで、市民が変えていく、市民が「まちをつかう」ような、素晴らしい取り組みとなる。